

	企業名	電気利用量の削減目標	節電対策(具体的な取り組み)
1	(株)アイ・オー・データ機器	2005年比、CO2換算で12%削減(灯油使用量含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の間引き、昼休み時の消灯、ライトアップキャンペーン等への参加 ・設備(空調、PC等)不使用時の電源OFF ・季節毎に外灯時間を調整 ・老朽化した設備を省エネ機へと更新 ・ノ残業機の設定(毎週、水曜日)
2	アムズ(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの実施 ・空調機の温度設定 ・人がいないスペースの照明の間引きの徹底
3	アルスコンサルタンツ(株)	2013年度までの削減目標:2011年度比炭素排出量3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機使用抑制のため、室内温度を適正に保つ(冷房25度、暖房20度) ・暖房使用時に天井と床付近の温度差をなくするため、サーキュレーター使用 ・未使用時の事務用機器のスイッチを徹底 ・未使用時の消灯を徹底 ・打合せ室などの冷暖房使用後のスイッチを徹底 ・帰宅時の事務用機器のスイッチを徹底 ・昼休み(12時~13時)の一斉消灯を行う。
4	石川建設工業(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要な時間帯の照明の電源を切る。(昼休みは全社一斉消灯) ・業務に支障のない蛍光灯の撤去 ・冷暖房設定温度の徹底(冷房:28、暖房20) ・1ヶ月毎の電気使用量の監視
5	加賀製紙(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤職場休憩時間の消灯割合増 ・事務所残業時の照明間引き点灯 ・冷房設定温度の1アップ ・LED蛍光灯の採用 ・白熱球から蛍光灯型電球への切替
6	加州建設(株)	平成21年度実績に対し、23年度末に環境負荷(購入電力については売上高百万円当たり二酸化炭素排出量)を3%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不要室内および休憩時間における消灯の励行 <ul style="list-style-type: none"> a 使用していない部屋や昼食時間等の消灯を励行する。 b 昼食時間において、必要のない場所での無駄な照明をしない。 ・空調設備の適温の励行 <ul style="list-style-type: none"> a 夏季冷房温度の設定は28 を目安とし、電力、燃料の消費を低減する。 b 冬季暖房温度の設定は20 を目安とし、電力、燃料の消費を低減する。 ・エレベーターの使用制限 <ul style="list-style-type: none"> a 原則として「下り」時には使用しない。 ・OA機器等の電源管理 <ul style="list-style-type: none"> a OA機器等は、未使用時には電源スイッチをOFFにする。各部門、部署とも責任者を定めてチェックを行う。
7	(株)金沢名鉄丸越百貨店	-	<ul style="list-style-type: none"> ・店内照明関係の速やかな消灯の実施(閉店後) ・空調設定温度を27 に引き上げ(売場内) ・冷凍機の効率的な運転 ・一部LED照明の導入 ・エレベーター(業務用)の一部運転停止 ・クールビズの徹底
8	環境開発(株)	平成23年度目標 250,000kwh削減	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設コンプレッサーの使用負荷の見直し(2設備) ・焼却施設の燃焼IP量の調整
9	(株)熊谷組北陸支店	現状、EMS上の削減目標は「2009年度実績の2%減」です。(2010年度実績が猛暑と豪雪で未達となった為、再チャレンジするもの。)ただし、今後本社から目標値に関する指示があれば、その数値に変更する可能性もあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯(照明器具の改善、照明灯の間引きは実施済み) ・ノ残業機-の確実な実施 ・社名看板の夜間照明を消灯 ・1時間以上離籍時のパソコン電源OFFの徹底(省エネモードの児童設定は全社員が実施済み)
10	(株)国土開発センター	前年比15%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・照明 1)事務所照明を間引 15% 2)駐車場の照明 100% ・エアコンの使用制限 1)6月 ほぼ100% 2)7月~9月 約35%使用制限(AM10時まで、昼休み、帰社30分前) ・パソコンの節電対策 1)20分でモニターの電源OFF(全社) 2)30分でハードディスクの電源OFF(全社) 3)モニターの輝度を下げる(各パソコン) ・ノ残業機- 1)月2回 第2、第4水曜日 2)7月7日 ・消灯時間の繰上げ 1)30分

	企業名	電気利用量の削減目標	節電対策(具体的な取り組み)
11	(株)サワヤ	平成21年度～平成24年の間に2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・作業場所を長時間離れる時は、消灯する。 ・電気の消し忘れチェック ・エアコンの温度設定 ・省エネ商品の提案(省エネランプ、冷えルフ等)
12	大正製薬(株)金沢支店	-	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度徹底、稼働台数の削減 ・間引きの照明の実施 ・屋上広告塔(本社)、玄関ホール、廊下の消灯 ・トイレの温水、便座の暖房中止 ・エレベーターの使用禁止(荷物が無い場合)
13	(株)高田組	現在策定中(目標の見直し)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度管理 ・不要な照明を消灯
14	(株)東洋設計	CO2排出量を3年で3%削減(原単位:社員1人あたり、営業1日あたり)	<ul style="list-style-type: none"> ・カービズを前倒しで実践 ・残業及び休日出勤の制限 ・デマンド監視装置を活用し、冷房運転時間と時期を制限 ・全社員一斉休業日を設定 ・非使用時、不要場所の消灯
15	トナミ運輸(株)	前年比15%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房中の室温を原則28℃に設定 ・フィルターの定期的清掃(2週間に1回目安) ・昼休み時間の必要箇所以外の消灯 ・パソコンディスプレイの照度調整、スリープモードの活用 ・使用していないOA機器の電源プラグを抜いて待機電力の削減
16	日海不二サッシ(株)	前年度比3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・残業の抑制(間接社員の工場応援) ・デマンド装置によるピーク電力カット(空調機) ・電灯の間引き ・メハラに交換 ・集塵機をインバータ付に変更
17	日本海建設(株)	電気使用量を含め、自動車の燃料使用量、灯油使用量等をCO2換算で前年比1%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不在、休憩時の消灯 ・カーテンブラインドを使用し、断熱性を向上 ・エアコンの温度設定(夏季:26℃以上、冬季:24℃以下) ・カービズ、ウォーヒズの実践
18	のと共栄信用金庫	平成18年度を基準に毎年1.2%削減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン等OA機器の節電機能を活用し削減に努める。 ・離籍時や長時間使用しない時は、パソコンの電源を切る。 ・6月1日からカービズの実施(冷房の設定温度28℃の厳守) ・給湯室、通路等不要箇所の消灯の徹底 ・毎月の使用量を回覧し意識を高める。 ・ブラインドを活用し冷房効果を高める。 ・窓を開放し通風を活用する。
19	ホクショー(株)	97年比20%削減(CO2排出量:生産高原単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の消灯、間引き照明 ・デマンド警報システムの導入 ・カービズ導入による弱冷房 ・塗装場排熱の遮断 ・LEDランプの導入(検討中) ・人感センサー照明の導入(検討中) ・屋外散水の実施(夏期のみ:検討中) ・エアコン屋外機への打ち水(夏期のみ:検討中) ・光反射ブラインドの設置(検討中)
20	北陸貨物運輸(株)	事務所消費電力量年間17,000kwh以内	<ul style="list-style-type: none"> ・電灯の間引き点灯 ・スイッチに注意ステッカーを貼付、不在時、不要時の消灯徹底 ・毎月の消費電力を掲示、全員に節電意識高揚 ・エアコンの温度設定の徹底(夏季28℃、冬季20℃) ・不在時のパソコンスイッチ、スリープ機能の適用

	企業名	電気利用量の削減目標	節電対策(具体的な取り組み)
21	北陸通信工業(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理(目安:28 冷房可、20 暖房可) ・不要照明の消灯徹底(各部署省エネ担当による管理) ・OA機器不使用時の電源OFF ・カービズ実施(6月～9月) ・ノ残業デー推進(毎週水曜日)
22	(株)北國銀行	-	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の消灯の徹底 ・営業室以外の照明については、必要最低限にとどめできる限り消灯する。 ・開店前、閉店後のビル(客待ちスペース)の照明を消灯する。 ・空調の設定温度調整の徹底 ・室温が28 になるように空調温度を設定する。 ・パソコンの設定の変更 ・ディスプレイの輝度を下げる。 ・スクリーンセーバーを消費電力の少ないものに設定する。 ・外出時のシャットダウンの徹底 ・渉外活動等で外出または長時間離籍する際には、パソコンのシャットダウンを行う。
23	丸果石川中央青果(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・不必要照明の消灯(卸売場、事業所8,691㎡従来より実施済)
24	丸文通商(株)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み時間の照明、空調の電源スイッチを切る ・ノ残業デー(水曜日)の実施 ・パソコンは外出時、退社時間、長時間使用しない時は電源スイッチを切る ・屋外掲示灯の点灯時間を1時間短縮(点灯は午後8時まで) ・事務所窓ガラスに遮光フィルムの貼り付け ・事務所内蛍光灯の間引き点灯 ・蛍光灯の人感知センサー設置(トイ他)
25	みつぼしテクノ(株)	前年度比3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房機の室内設定温度(冷房:28、暖房:20)を遵守し、「冷暖房使用状況記録票」に記録する。 ・昼休み等、不要時の消灯、事務機等の電源カットをこまめに行い記録する。 ・エアコンフィルターの清掃(6月、12月) ・カービズ(5月～10月)、ウォークビズ(12月～3月)の実施
26	(株)明翫組	当社の自主目標 当年度(H23.7.1～24.6.30)の目標...前々年度比10%削減(前々年度(H21.7.1～22.6.30)実績:183,256kwh)	<ul style="list-style-type: none"> ・不要室内及び休憩時消灯 ・冷暖房設定温度の厳守(冷房温度28、暖房温度22) ・空調設備の保守点検、清掃を徹底し使用量の非効率を排除 ・エレベーター使用の自粛 ・OA機器等の使用時以外の電源OFFを徹底
27	(株)大和環境分析センター	-	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器に関する管理基準 暖房時は室温を22 以下の設定とする。冷房時は27 以上の設定とする。 ・照明、事務機器に関する管理基準 照明の節電管理(必要のない照明の消灯)、コンピュータの節電管理(使用しないものの電源切断を心がける。) ・分析機器の省エネルギー管理基準 効率的な仕事の受注に心がける(営業、分析者の連携を持つ。)
28	(株)やまと商事	前年度比15%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・未使用箇所の消灯、未使用時のパソコン断 ・工場内作業の効率化 ・グリーンカーテンの実施 ・カービズ、ウォークビズの実施
29	ヨシダ印刷(株)	契約電力を480kw以下に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの温度設定を28 とする。 ・19時以降のエアコン使用禁止 ・5/30～9/30間、カービズ実施 ・社内イントラにて毎月の電気料金、デマンド値を告知する。 ・エアコンのスイッチの入切の管理は全て総務部で行う。